

パターソン州知事記者会見（4月29日午後12時10分）

ニューヨーク州内における豚インフルエンザ(Swine Flu)の可能性

4月29日午後12時10分、パターソン州知事ほかが行った記者会見の概要以下のとおり。

パターソン・ニューヨーク州知事

- ・ ニューヨーク州のオレンジ郡（南東部、ニューヨーク市の北約60マイル）、コートランド郡（ロングアイランド、ニューヨーク市の東約45マイル）、サフォーク郡（ロングアイランド、ニューヨーク市の東約80マイル）でおそらく H1N1 型と思われる検体が3件みつかった。
- ・ 現在米国疾病予防管理センター（CDC）の検査結果を待っているが、確認されれば、州内ではセント・フランシス高校（クイーンズ区）以外で確認される最初の症例となる。
- ・ 州政府はニューヨーク市外で今後より多くの症例が出ると予想している。
- ・ インフルエンザに対抗し媒介しないためには、州民は一般的な衛生常識に注意を払うことが重要だ。
- ・ 今後より悪いシナリオにも準備しているが、重症（critically ill）は確認されていない。

リチャード・デーニス・ニューヨーク州衛生長官

- ・ 28日に、州衛生局は CDC の検査試料により豚インフルエンザの疑いのある21件の検体を検査し、H1N1 型と思われるものを3件検出した。現在 CDC が確認している。
- ・ 21 件のうち 6 件は季節性インフルエンザだった。言い換えれば、通常の季節性インフルエンザの方が新型 H1N1 型インフルエンザより多い。
- ・ オレンジ郡のケースは患者がヘルスケアワーカーのため、施設居住者及びケアワーカー約 60-70 人についてタミフルを提供する。
- ・ 現在、州全体で75件の「疑わしい」または「調査を要する」検体がある。この数字は今後変わると思われるが、州民は過敏に反応するべきではない。
- ・ すべての郡にヘルス・チームをおいている。州は250万錠のトリートメントを保有している。CDC は州に40万錠を追加した。ニューヨーク市には30万錠を追加した。われわれは州民の27%をカバーするトリートメントを保有しており、これは目標としていた25%より多い。